

東成区の昭和 やぶにらみ日記

絵と文・柳たかを

「恩返し」

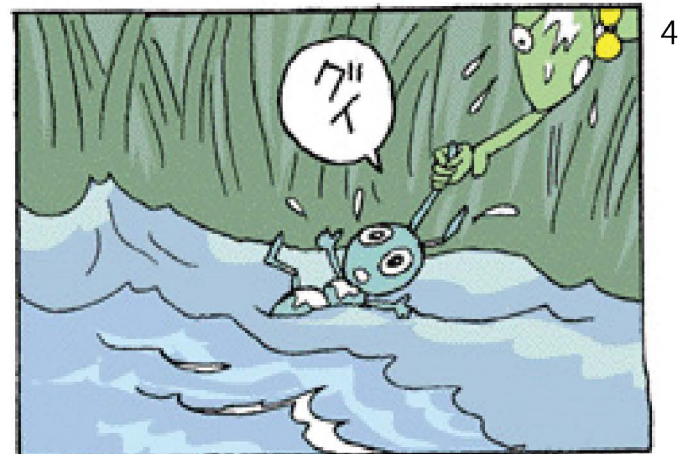
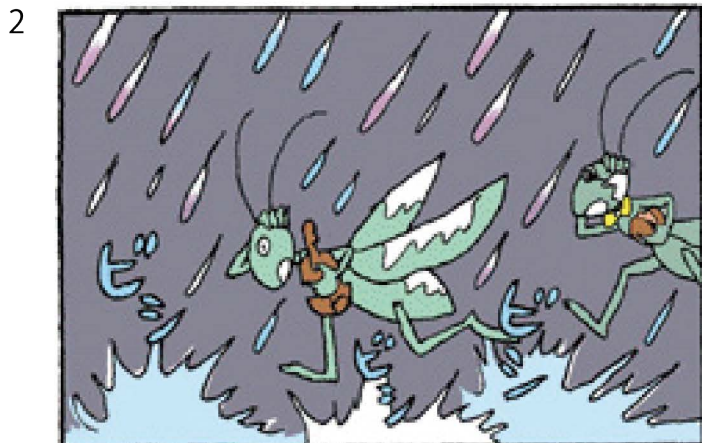
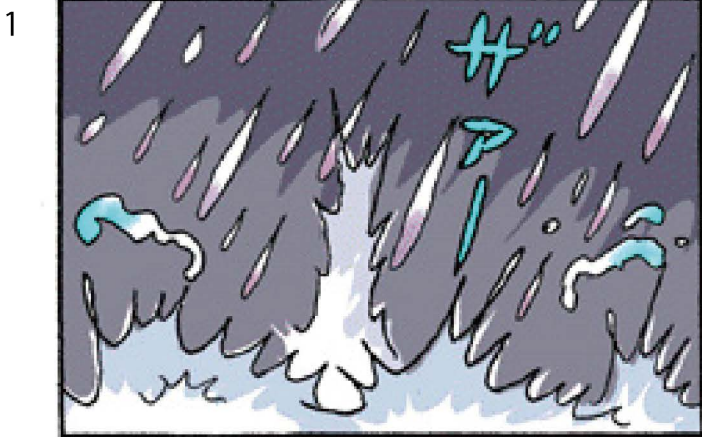
困っている時に、「どうかしましたか？」と気づかう声をかけてくださる心優しい人がいます。

じっさい私も自宅の前、遮断機の降りた登り坂の小さな踏み切りで停車した自動車の後ろに並んで止まろうとして、地面に足がとどかず自転車に乗ったまま横向きに倒れ（立ちどけ）、「まいったなあ」と思いながら起き上がろうとしていたら、前に止まっていた車から若いドライバーさんが飛び出してきた。「だいじょうぶですか？」と自転車を起こしてくださったことがあります。

こちらはドジな自分が恥ずかしいばかり、若いドライバーさんが真剣に心配してくださるのがありがたいとも照れくさく、起き上がりながら小さな声で「だいじょうぶ…ありがとう」とお礼をいうのが精いっぱいでした。

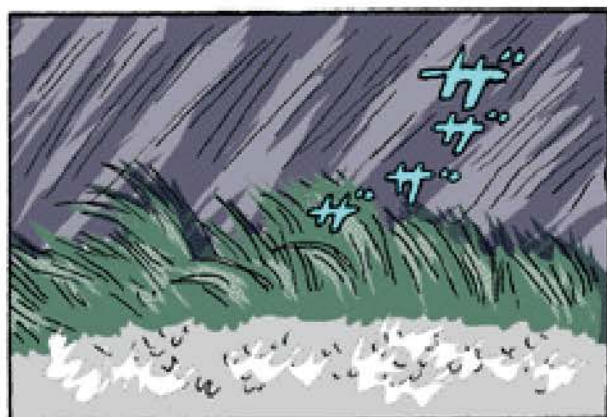
こういう見ず知らずの人から受けたささやかな優しさや思いやりの経験は、心にずうっと残っていて、チャンスがあれば今度は自分が誰か困っている人を助けたいと思う力になるように思います。

イソップ寓話「アリとキリギリス」は将来にそなえることの大切さを説いた話、小学生低学年の私でも意味の重みがズシンと心に残った、担任の先生に「紙芝居にして」と頼まれ、すごくやりがいを感じた記憶があります。このマンガではそこに（恩返し）の味付けを加えています。



やぶにらみ日記 (558)
東成区の昭利 

(100) 写生



やぶにらみ日記 (559)
東成区の昭利 

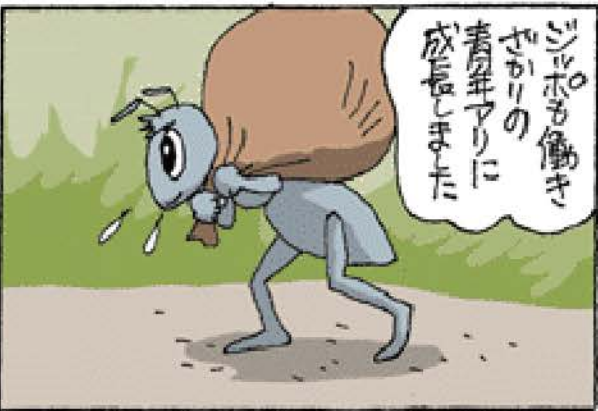
(101) 写生



やぶにらみ日記 (560)

東成区の昭利

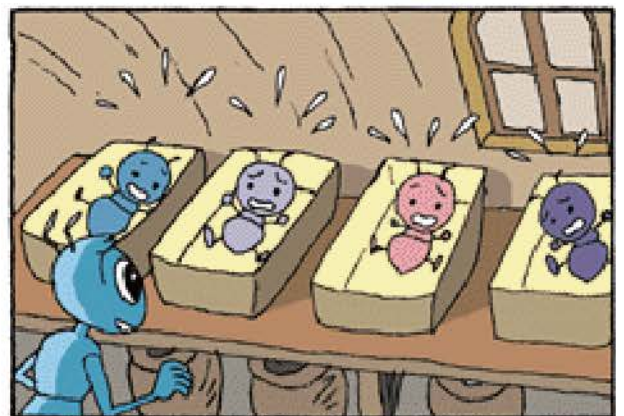
(102) 写生



やぶにらみ日記 (561)

東成区の昭利

(103) 写生



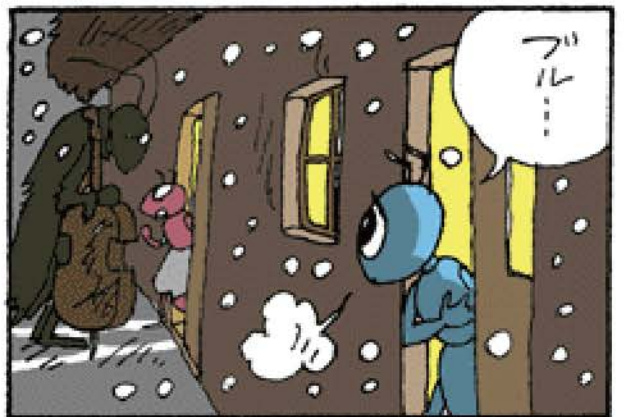
やぶにらみ日記 (562)
東成区の沼利 

(104) 写生



やぶにらみ日記 (563)
東成区の沼利 

(105) 写生



やぶにらみ日記 (564)
東成区の沼和 

(106) 写生



やぶにらみ日記 (565)
東成区の沼和 

(107) 写生



やぶにらみ日記 (568)
東成区の昭利 

(110) 写生



やぶにらみ日記 (569)
東成区の昭利 

(111) 写生



